

Newsletter



No. 57 1995. 3. 15

〒141 東京都品川区大崎 5-6-2 産能大学内
 事務局： 日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL 03-5487-8864

日本教育情報学会 第11回年会のご案内 (第2報)

先にご案内いたしました但、日本教育情報学会第11回年会を次のとおり開催いたします。発表申込の締切期限を延長させていただきましたので、同封の申込書により期限内に手続きくださいますようお願いいたします。

テーマ 「新世紀の教育と情報・コンピュータの可能性」

期 日 1995年8月17(木)・18日(金)

会 場 ルビノ京都堀川 (旧名称京都堀川会館) - 全館冷房完備です。
 地下鉄丸太町より徒歩約15分
 京都市上京区東堀川通下長者町 (TEL 075-432-6161)

発表申込期限 1995年5月10日(水)

※参加申込の方法につきましては、後日ご連絡いたします。

事務局 京都教育大学教育実践研究指導センター内
 日本教育情報学会第11回年会事務局

日 程

8月17日(木)		8月18日(金)	
10:00~12:00	一般研究発表	10:00~12:00	課題研究発表
12:00~13:30	昼食・理事会	12:00~13:30	昼 食
13:30~14:00	総 会	13:30~14:50	一般研究発表
14:00~16:30	シンポジウム	15:10~16:30	一般研究発表
17:30~19:00	懇 親 会		

(プログラムの詳細は、3報でご案内いたします)

1 シンポジウム

(1) シンポジウムのテーマ

「新世紀の教育と情報・コンピュータの可能性」

シンポジウムは質問や討議の時間を十分に用意するために、パネリストをお二人に限定して、現在交渉しています。どうぞ、ご期待ください。

①大学研究者、および教育研究者の立場から、
中山和彦氏（筑波大学、電子・情報系教授） 中山先生は『未来の教室』（筑波出版会）など多数の著書があり、多くの方がご存じだと思いますが、国際的なご活躍でも著名な方です。

②コンピュータ・ソフト、ハードの開発の専門の立場から、
神田泰典氏（富士通、パーソナルビジネス本部長） 『コンピュータ知的「道具」考』（日本放送出版協会）や、親指シフトキーの研究開発者として著名な方です。

また、お二人に親しい方に司会と進行役をお願いすることにしています。もちろんフロアーの聴衆の皆さまからも、この機会に日頃の取り組み、疑問や問題点、将来に関する展望など多くの意見や質問をお二人のパネリストにぶつけていただきたいと思います。

2 課題研究

課題研究として、「新世紀への情報教育」を前提とし、「新学力観と情報教育」、「国際協力と情報教育」、「マルチメディアの教育利用」の3セッションを設けました。

「課題」設定の主旨

平成4年度から新しい学習指導要領による教育が小学校から順次実施されています。この学習指導要領では新学力観をあげ、情報化、国際化への対応が大きな柱の一つとして盛り込まれています。

また、各校種、各教科、各学年で新学力観に対応した自己教育力の育成が必要とされていますが、情報教育によって育成される情報活用能力は自己教育力にどう関わっていくのか、国際化がますます進むの中で、情報教育はどのように貢献できるのか、マルチメディアの教育利用はどうあるべきか、など新世紀に向けての課題は残されています。

このように、「情報教育」に関する環境が今までとは大きく異なってきている現在、もう一度「新世紀への情報教育」の内容・方法について考えていく必要性があります。長期的な展望にたった「情報教育」の発展に寄与できるような、実践・調査研究等の発表を期待しております。

3 一般研究発表

(1) 研究対象

幼稚園、小・中・高等学校、短大・大学教育、専門学校、企業、生涯教育、社会教育、教師教育、障害児者教育など

(2) 研究分野

教育情報、メディア（マルチメディア、ハイパーメディアを含む）、CAI、CMI、情報教育、情報処理教育、視聴覚教育、教育用ソフトウェア、学習ソフト開発、教材開発、システム開発、データベース、パソコン通信、教育情報ネットワーク、教育評価、授業分析

4 オープン・セッション

教育現場で情報教育を実践し推進している先生方が気軽に研究発表していただくための「オープン・セッション」を設定します。地域の何らかの研究組織に参加しておられる先生ならば、会員でなくても研究発表していただけます。会員各位には、お知り合いの方々に積極的にご案内いただければと存じます。「オープン・セッション」での発表をご希望の方は、「年会一般研究発表申込書」の「発表セッション」欄の空欄に「オープン・セッション希望」とご記入になり、「所属・職」欄に（ ）書きで所属研究組織名をご記入の上、研究発表応募の方法にしたがってお申込みください。会員外の方は、用紙をコピーしてお申込みください。

5 研究発表応募の方法

(1) 研究発表申し込み期限

平成7年5月10日(水)

(2) 申し込み方法

同封の「年会研究発表申込書」に必要事項を記入の上、申込期限までに「第11回年会事務局」へ送付して下さい。

なお、講演者(当日の登壇者)は正会員(専門会員及び専門会員の推薦を受けた一般会員)に限ります。現在会員でない方でも、平成7年7月18日までに入会の手続きをとれば、講演者になることができます。

(3) 申込書記載方法

- 1 申込書は、研究発表1件について1枚とします。
- 2 講演者となることができるのは1人で1件だけです。
ただし、課題研究と一般研究を重複して、それぞれ1件ずつ申し込むことができます。
- 3 研究発表1件についての発表者は何人でもかまいません。
しかし、講演者は1件について1人とします。
講演者以外の発表者は、共同発表欄に記入して下さい。
- 4 発表希望のセッションは、第1希望と第2希望を選んで記入して下さい。

(4) 研究発表者への連絡

応募者には、年会実行委員会から平成7年5月31日(水)までに発表の可否を連絡するとともに、発表を可とされた応募者には、後日に「年会論文集」の原稿用紙及び執筆要領をお送りします。なお、原稿枚数は、2枚または4枚とします。(原稿用紙1枚は刷り上がり1ページに相当し、1500~2000字入ります。)

○ 原稿提出期限 平成7年7月3日(月)

この日付の消印があるものまで「年会論文集」に掲載します。

(5) 年会研究発表の申し込み、問い合わせ先

日本教育情報学会第11回年会事務局 林 徳治, または宮田 仁 宛

〒612 京都市伏見区深草藤ノ森町1番地
京都教育大学教育実践研究指導センター内
(電話) 075-641-9281 内線612, 611
(Fax) 075-641-9274

(6) 宿泊の手配について

宿泊の手配・仲介は行っていませんので、おそれいりますが各自にてお願いいたします。なおご参考までに、京都では8月16日(水)が五山送り火「大文字焼き」のため大変混雑します。ご遠方の方は、できる限りお早めに宿泊の予約をお勧めします。ぜひとも前日の16日にご到着になり「大文字」を楽しんで下さい。

研究会開催のご案内

News letter No.56でもご案内いたしましたが、同封のように5月27日(土)に、京都市で「これからの教育と教育情報活用およびマルチメディアの役割を考える」をテーマとした研究会を開催いたします。多数の皆さまの参加をお待ちしております。

テーマ：これからの教育と教育情報活用およびマルチメディアの役割を考える
基調講演：「教育施策の方向とマルチメディア利用」

(岐阜大学 教育学部長 後藤忠彦教授)

日時：1995年5月27日(土) 10:00~16:30

会場：京都教育大学 教育実践研究指導センター 2F スキル室

(〒612 京都市伏見区深草藤ノ森町1番地)

参加費：2,000円(資料代として)

申込先：京都教育大学 教育実践研究指導センター 林 徳治, 宮田 仁

(TEL 075-641-9281 内 611,612 FAX 075-641-9274)

年会費お支払いのお願い

1994年度も間もなく終了となります。今回、1995年度会費の振込用紙を同封いたしましたので、手続きをお願いいたします。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の発展のためにも、主旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますようご協力をお願いいたします。

なお、94年度分の年会費のお支払いが、まだお済みでない方は95年度会費の振込用紙と合わせてご案内しておりますので、早急に手続きをいただきますようお願いいたします。

また、お知り合いの方で本学会の活動にご関心のある方がいらっしゃいましたらお知らせください。事務局より案内書を送付させていただきます。